

## 西国分寺駅北口周辺まちづくり グランドデザイン (案)

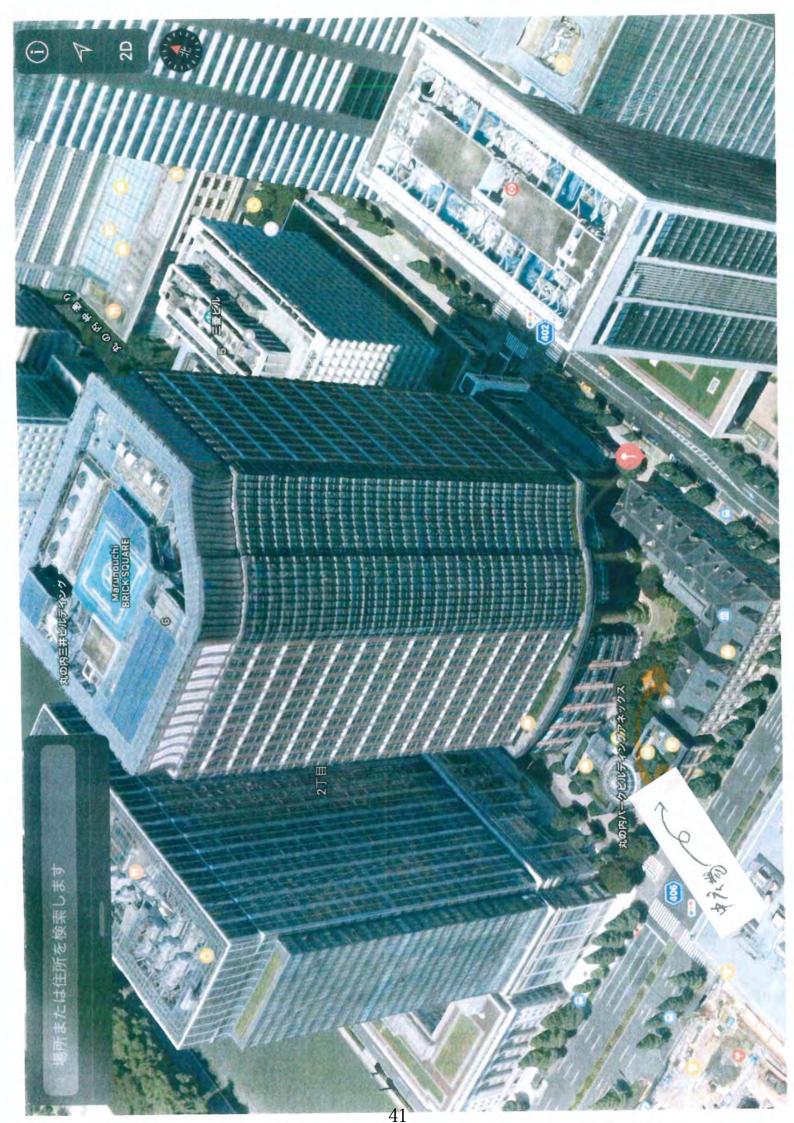
## 1 全体計画

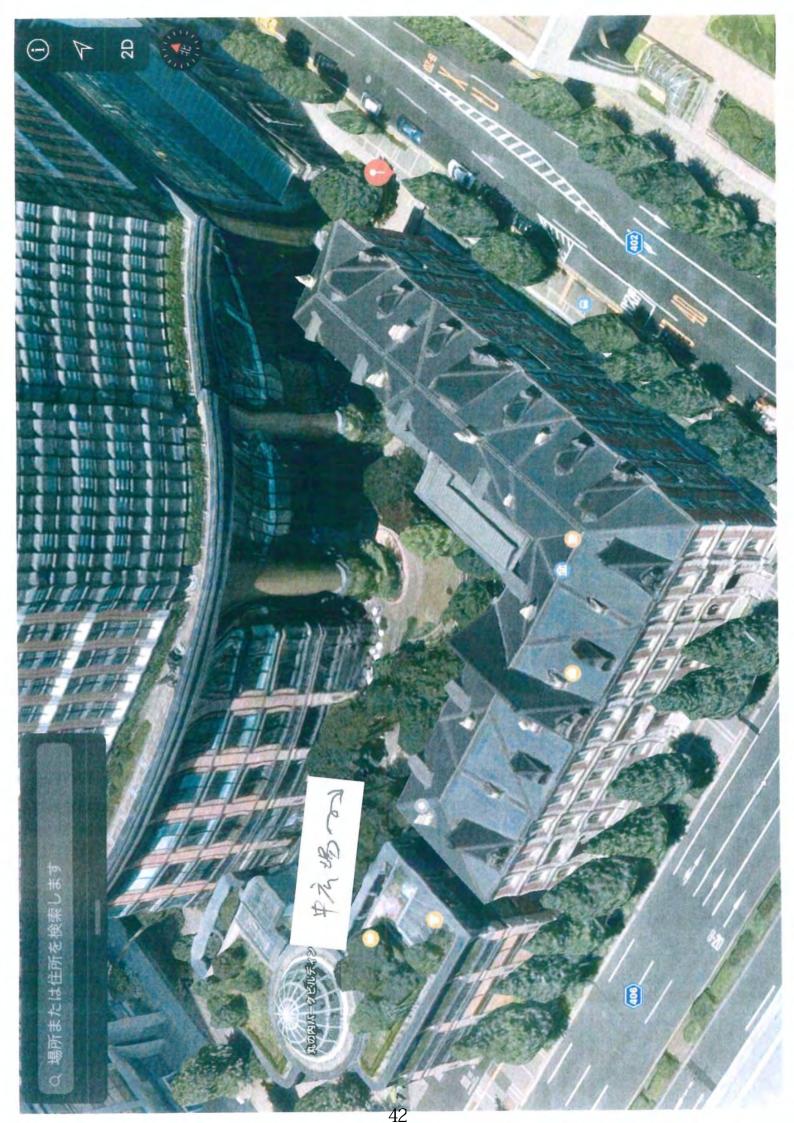
キャッチコピー	多様な環境と暮らし ゆたかなまちづくり		
計画コンセプト	・さまざまな暮らしのあるまち 多様な世代・生活がふれあうまち ・域外活動、利便性、みどり・潤い、活気等とふれあい、生活をエンジョイ出来るまち		
	・それぞれのエリアでの、様々な事業展開(事業主体、手法、事業フロー等)によるまちづくり		
全体土地利用計画	別紙:「グランドデザイン検討図」参照		

## 2 エリア別計画

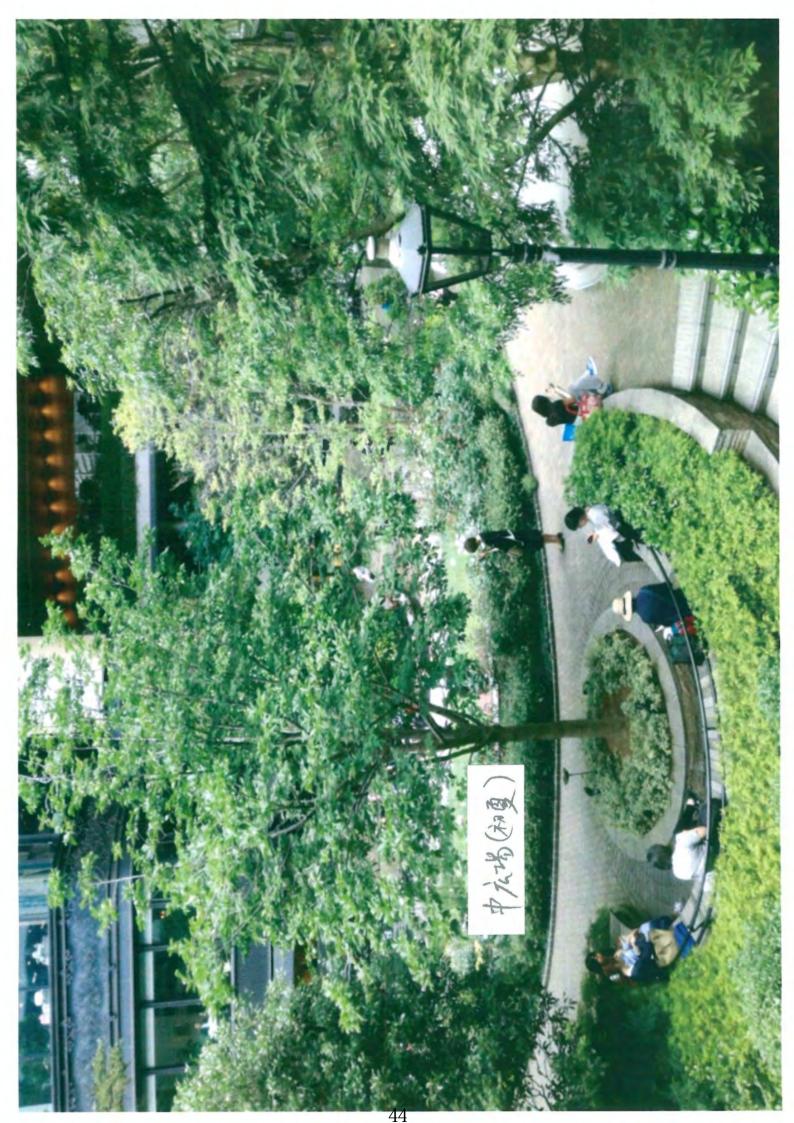
エリア名	賑わい拠点エリア (北口駅前エリア)	地域生活拠点エリア (西恋ヶ窪2丁目北側エリア)	住環境向上エリア (西恋ヶ窪 2・3 丁目、日吉町エリア)	沿道利便性向上エリア (都市計画道路 沿道エリア)
方針	<ul><li>・北口周辺地区の玄関口</li><li>・地区内外との交流</li><li>・都市生活・文化交流の拠点</li></ul>	・地区住民等の生活拠点 ・賑わい拠点エリアの補完エリア	・安全・潤いの郊外住宅地 ・みどりゆたかで良好な住環境	・幹線道路と一体化するまち
導入機能	・交通広場・公共交通施設 ・都市生活支援・利便施設 (行政窓口、医療施設、保育施設、 商業施設(日用品)等) ・都市型住宅(高層)	・公共交通施設(駐車、駐輪場) ・生活利便施設、生活サポート施設 (保育施設、商業施設(日用品)等) ・都市型住宅(中層)	<ul><li>・戸建住宅</li><li>・タウンハウス</li><li>・みどり</li><li>・公園・空地</li></ul>	・沿道型店舗・サービス店・住宅(マンション等)
整備手法	<ul><li>○道路整備事業(注)</li><li>・土地区画整理事業</li><li>・市街地再開発事業</li></ul>	<ul><li>◎道路整備事業(注)</li><li>・土地区画整理事業</li><li>・市街地再開発事業</li></ul>	<ul><li>◎道路整備事業(注)</li><li>・共同・協調建替え、改修</li><li>・共同緑化、景観形成</li></ul>	・共同・協調建替え、改修 ・共同緑化、景観形成
整備目標	·短期事業化(10年)	・短期事業 (賑わい拠点エリアとの連携も)	・街路事業は短期 ・共同・協調事業は、継続定期	・共同・協調事業は、継続定期

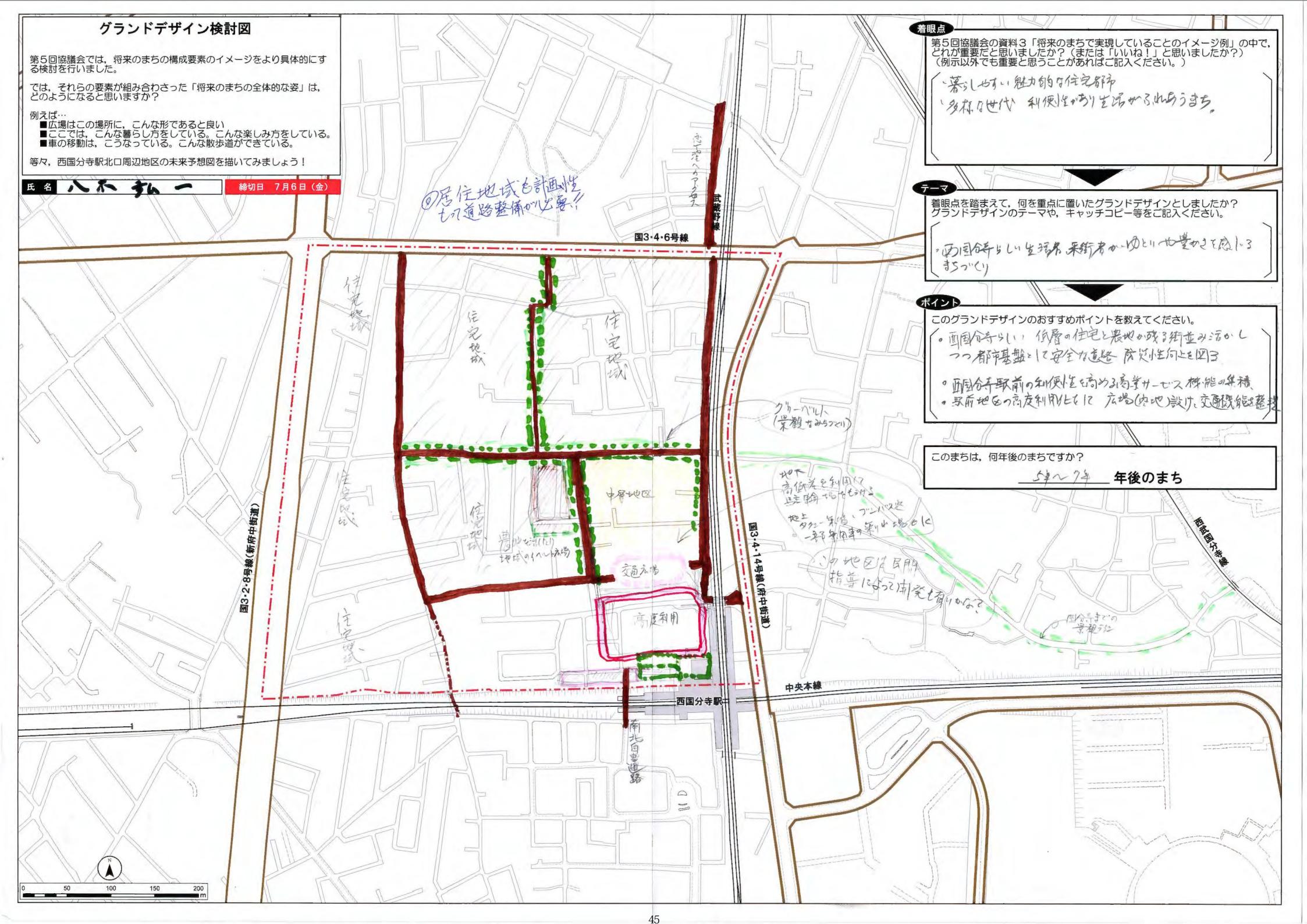
注:道路整備事業(交通広場を含む)の内、幹線系(2車線確保)道路は、公共により短期整備。サービス道路は、部分的整備を含め継続的に中期的に整備 する。

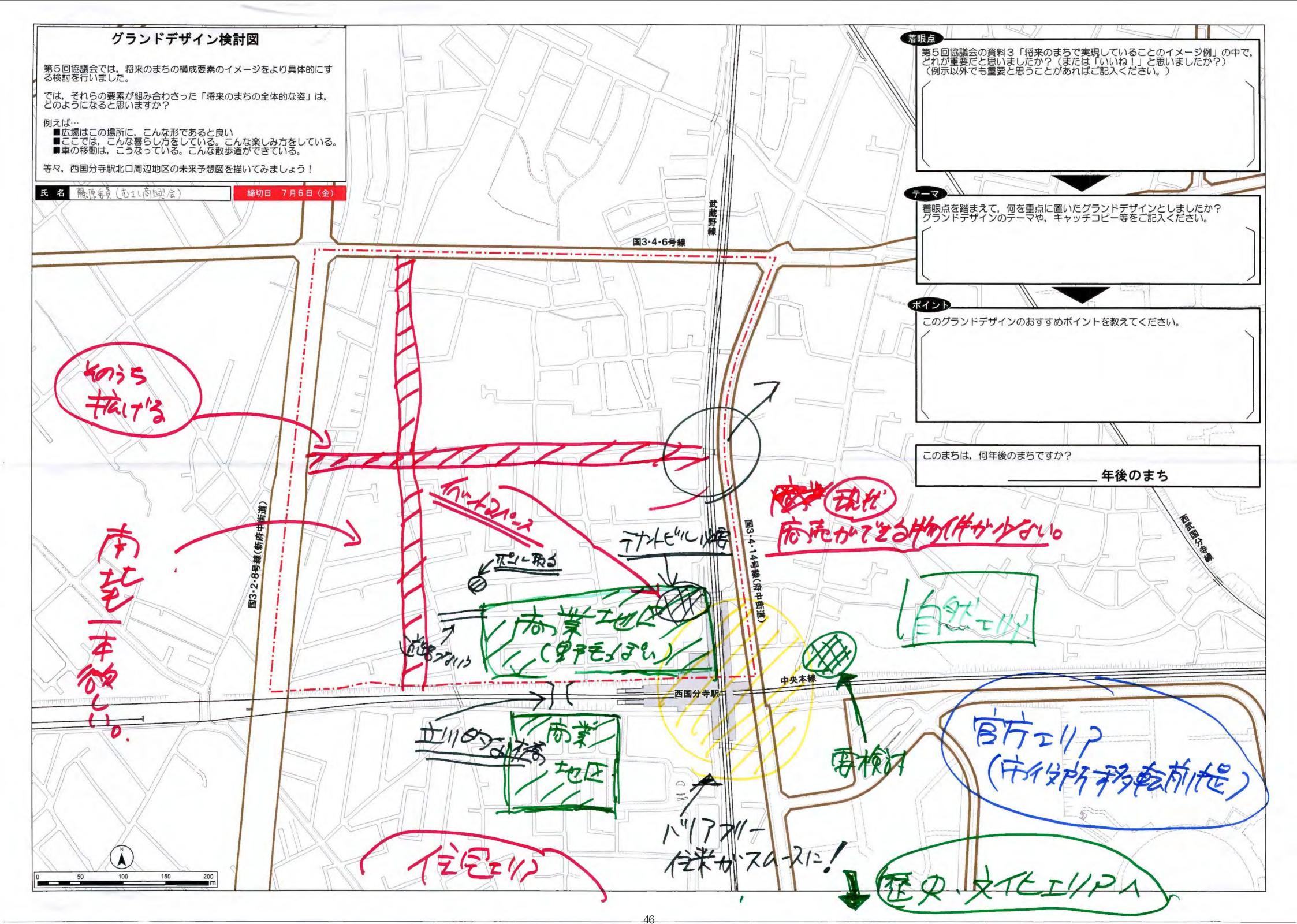












## 第三者からみた西国分寺

- 西国分寺の中でも西恋ヶ窪は、古くから住んでいる人と新しい人(単身世帯が多い)のミックスされた地域。
- 居住者の平均年齢は高くないが、75歳以上の高齢者が20%近くおり、 若年層と高齢層の二極化が進んでいる。
- 戸建て、共同住宅比率、持ち家、貸家比率はどちらもバランスよく配分されている。
- 駅徒歩圏内に、公園や史跡が多く、図書館など住環境は充実している。
- 乗降客数は、東小金井と同数。地価水準や用途地域の分布状況から、東小金井と似た地域特性をもっている。
- 朝の通勤時間は、近隣の大病院等への勤労者が多い。また、夕方以降の居酒屋、飲食店はサラリーマン、女性などで平日も賑わっている。
- 近隣の立川、国立、国分寺では、地代が高く開業の敷居が高い、個人事業 主の個性のある飲食店等の個店が多い。

# 西国分寺の未来「ウエスト・カントリー構想」

## 基本方針

## 人・世代・エリアをつなぐ、まちづくり ~ウエスト・カントリー構想~

## 基本戦略1

中央線と武蔵野線の<u>結節点である他にはない立地条件</u>を生かして、 **人がつながる**空間を演出。思わず途中下車したくなるような駅北口は ディープな個店が集積したエリア(イメージ:野毛)。

## 基本戦略2

従来から居住する高齢世帯と新参の若年層が二極化する<u>年齢階層的な特性</u>を生かして、老若男女が集まり、西国の歴史や時代、技術を伝承するような**世代をつなげる**場づくり(駅前にシンボリティックな共有スペース)。

## 基本戦略3

現状、足ふみ状態にある北口、南口、東口が一体となった<u>バリアフリー基本</u> 構想の推進し、市役所の移転誘致、官庁街としての発展性、駅を軸に分離した エリアをつなぎ、移動しやすいまちづくりを実現。

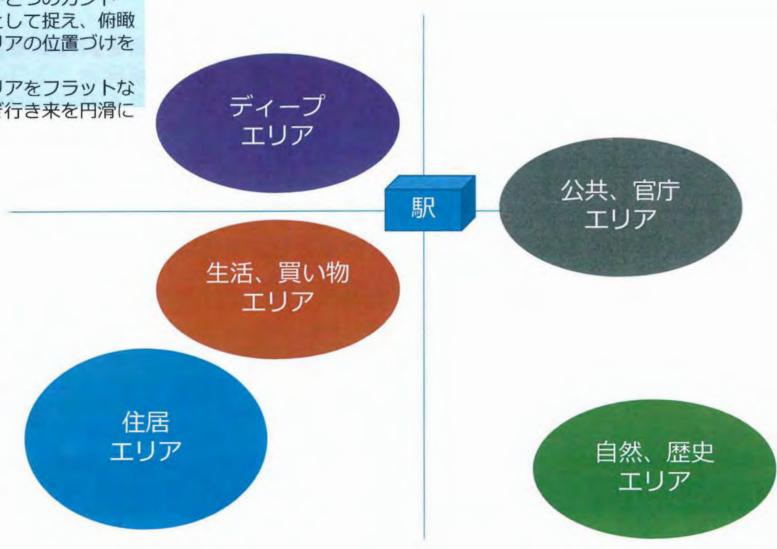
8

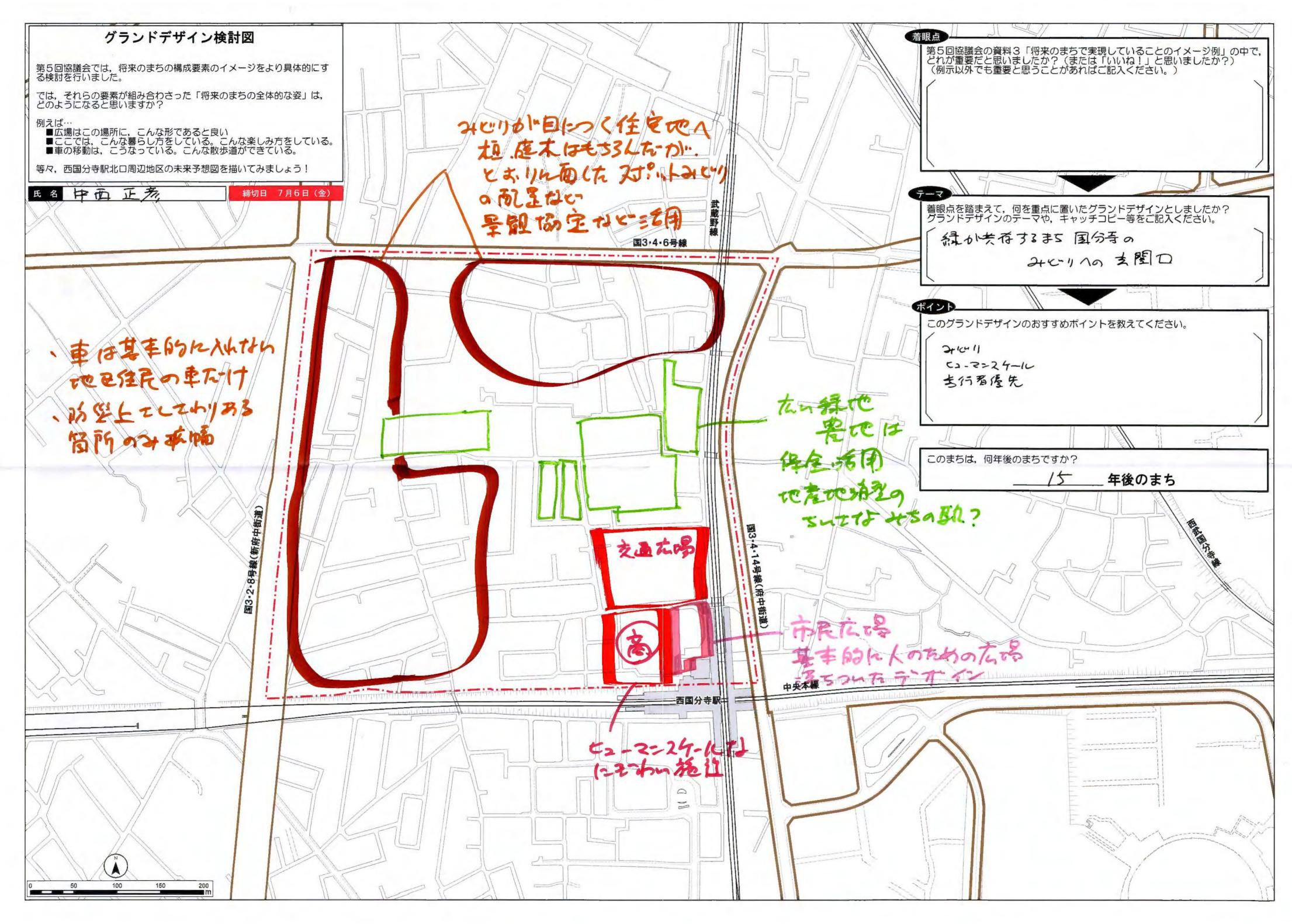
4

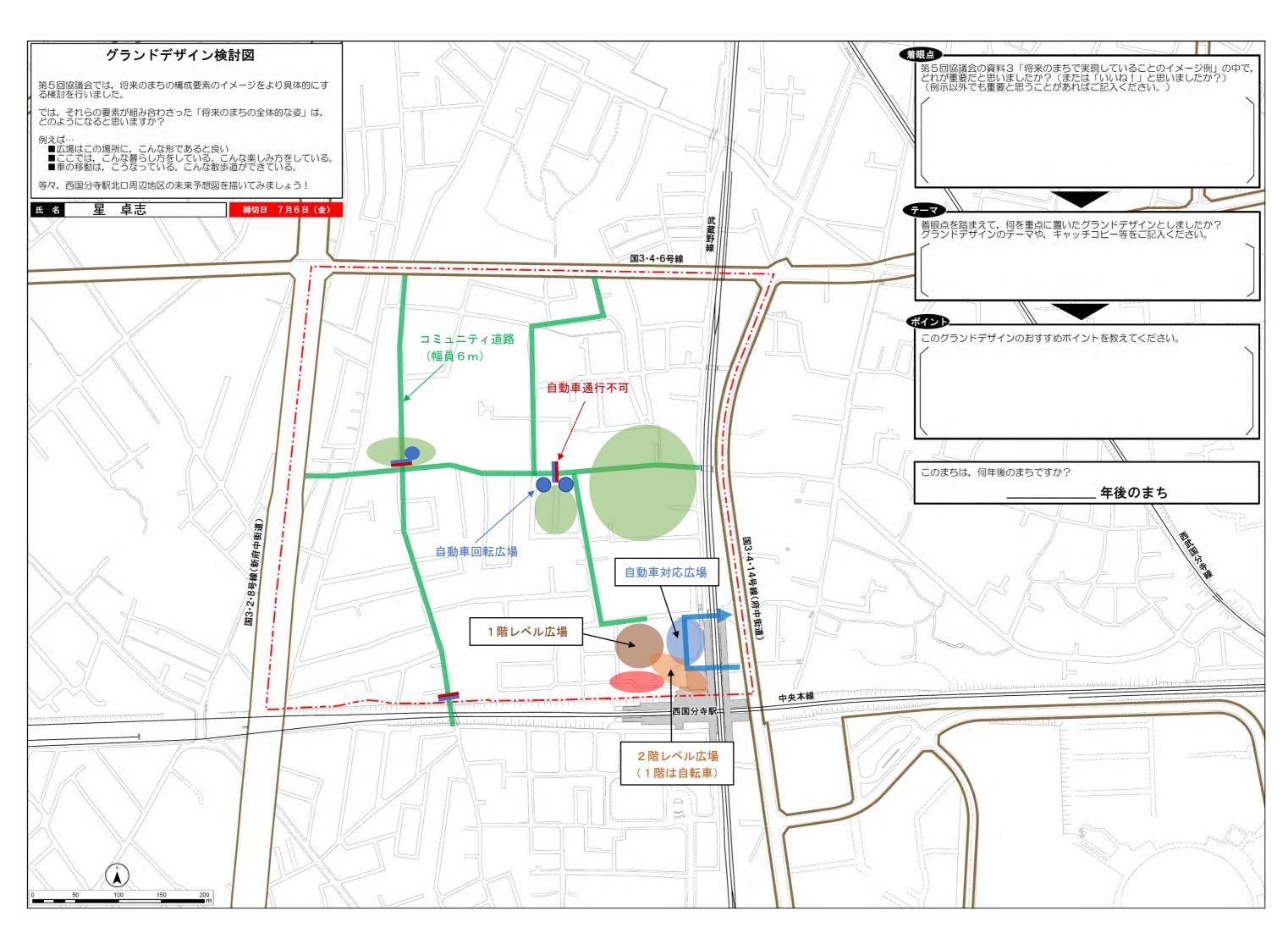
# 西国分寺の未来「ウエスト・カントリー構想」

西国分寺をひとつのカント リー(国)として捉え、俯瞰 して北口エリアの位置づけを 検討する。

また、各エリアをフラットな 動線でつなぎ行き来を円滑に する。







## 西国分寺北口地区 グランドデザイン案 (星)

#### (1) 西国分寺駅周辺

- ・駅前に人の広場。改札から繋がる2階レベル広場と、そこから大階段+スロープで繋ぎ、空間的連続性を確保した地上レベル広場で構成
- ・2階レベル広場下部は駐輪場
- ・広場の周りに店舗・・既存+自然拡張
- ・自動車は東側の一部のみで回す。

#### (2)地区内動線

- ・歩行者中心のネットワーク(緑道的)を既存オープンスペース(生産緑地等)を結びつけながら既存道路で形成(復員6m)
- ・居住者と配達車等のみ自動車侵入可とし、行き止まりの回転広場を確保。
- ・それ以外は、既存道路を4mまで拡幅(基本的に2項道路で)

#### (3) コミュニティ拠点

・生産緑地にコミュニティ機能を確保:屋外空間(コミュニティ農園、広場等) +集会施設等

### (4) 新規機能導入、街なみ形成

- ・好ましい非住宅施設(認証保育園、カフェ、しゃれたお店など)の導入を一件審査により(エリマネ組織:地元まちづくり協議会)で一次審査→市長の認定
- ・優れた街なみ形成のため地区計画導入

#### (5) 事業費確保

・国交省「街なみ環境整備事業」等の導入検討

#### (6) エリマネ組織

- ・住民組織を中心とする「まちづくり協議会」を発足
- ・まちの変化を継続的に管理
- ・駅前広場、コミュニティ拠点の活用・管理